



- 企業経営の未来を考える -

やまがたGX 経営塾



「GX（グリーン・トランスフォーメーション）」とは、化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革し、エネルギーの安定供給・経済成長・排出削減の同時実現を目指す取り組みです。中小企業がGXに取り組むことで自社の経費削減・競争力強化につながることはご存じでしょうか？

山形県では**県内中小企業（製造業）を対象**とした全4回の脱炭素経営塾を開講します。経営塾では脱炭素経営に必要な基礎知識の習得から、自社CO₂排出量の可視化、具体的なCO₂排出量削減アクションとその効果をお伝えし、CO₂排出量の削減計画の策定を通じて脱炭素経営に向けた新たな取り組みの検討を目指します。

脱炭素についてまだ知らない方も、取り組みを始めた方も、どなたでも参加できるカリキュラムとなっておりますので、ぜひご参加ください。

会場：山形県庁内会議室
(山形県山形市松波2丁目8番1号)

お申し込みはこちらから



参加申込期日

7月31日 木

23:59まで
定員：10社程度

※定員に達し次第、締め切らせていただく場合がございます

第1回

カーボンニュートラルを体験する

2025年
8月8日(金)
14:00～

第一回はカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を利用したワークショップを通して、カーボンニュートラル達成の難しさと、企業に求められる行動を体験します。

第2回

企業が脱炭素経営に取り組む必要性を知る

2025年
9月12日(金)
14:00～

サプライチェーンからの排出量可視化要請や排出量取引制度等、今後企業に求められる取り組みや制度を紹介し、脱炭素の第一歩として「自社CO₂排出量可視化」に向けた準備を行います。

第3回

具体的な削減アクションを知る

2025年
10月15日(水)
14:00～

CO₂排出量可視化後の企業のアクションとして、省エネ・創エネ・再エネ・オフセット等の具体的な削減策や、山形県の制度について学習します。

第4回

削減目標に応じた削減計画の策定

2025年
11月21日(金)
14:00～

可視化した自社CO₂排出量データと学習した削減策を組み合わせ、自社にあった削減計画を検討します。

スケジュールおよび内容は変更になる場合がございます。

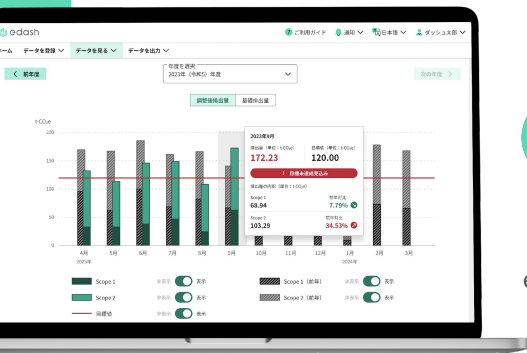
研修の対象：山形県内に本社や事務所等を置く中小企業(製造業)の担当者および経営者等

持ち物：(必須)お名刺2枚・筆記用具

(任意)ノートパソコン / 第2回・第4回で利用する可能性があります

注意事項

- ・各回の詳細は別途お申し込み後にご案内いたします
- ・原則としてすべてのカリキュラムにご参加いただきます
事前に日程のご調整をお願いいたします



CO₂排出量の 可視化

データ入力から
算出・分析まで
e-dashが自動化します



CO₂排出量の 目標設定

削減目標を登録して
目標対比の
実績管理も一元化



CO₂排出量の 削減

コスト削減から
排出量削減まで
具体的な方法をご提案

操作が簡単！

エネルギーの請求書データをアップロードするだけ！
手入力の手間もなく、誰でも簡単に見える化が可能！

かんたん！請求書のアップロード デモ動画はこちら



企業が脱炭素経営に 取り組むメリットは？



優位性の構築

他社より早く取り組むことで「脱炭素経営が進んでいる企業」や
「先進的な企業」という良いイメージを獲得できます。



知名度・認知度向上

環境に対する先進的な取り組みがメディアに取り上げられること
も。お問い合わせが増えることで売り上げの増加も見込めます。



社員のモチベーションや 人材定着率・獲得率の向上

自社の社会貢献は社員のモチベーションにもつながります。またサ
ステナブルな企業へ従事したい社員数は年々増加しています。



好条件での資金調達

企業の長期的な期待値を測る指標として脱炭素への取り組みが重要
視されています。



光熱費・材料費の低減

省エネ化や再エネ導入など脱炭素の取り組みは、光熱費や材料費な
どの削減にもつながります。

実際の事例



製造業 A社

(従業員約100名)

e-dashの提案で電力を「100%再エネプラン」に切り替えたことにより
年間約500万円のコスト削減につながりました。

本事業では、CO₂排出量可視化ツール「e-dash」を無償提供し、
自社CO₂排出量の可視化と削減計画の策定を行います。
利用にはインターネット環境とパソコンが必要です。